

「安納小学校の安納棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

西之表市立安納小学校

2 学年・人数

1～6年生（計12人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年11月～令和3年1月 安納小学校校庭，体育館

令和3年1月9日（土） 発表前の練習（安納区会議所広場）

(2) 発表の日時・場所

令和3年1月10日（日） 破魔祈禱祭での棒踊り披露

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

(1) 名称

安納棒踊り（示現流くずし棒踊り）

（あんのうぼうおどり）（じげんりゅうくずしぼうおどり）

(2) 由来

明治時代に加治木町から移住してきた大工石野政蔵氏に習ったものが，軍場（ぐにわ）集落に受け継がれてきて，安納地区に定着した。現在は，青年団等で踊りを継承しており，軍場集落にある軍場神社，大平（おおだいら）集落にある安納神社で踊りを奉納している。

(3) 構成等

頭に白くて長いハチマキとタスキがけ，腰に黄色の帯，白いズボン下をはき，前は水色の前掛けをして，足にはケハン（脚絆）に手製のわらじを履いている。棒を4人，カマを2人が持ち，ハナ引きの唄に合わせて6人1組で踊る。

「サーサーサー」の掛け声と激しい太刀さばきと一糸乱れぬ集団美が特徴であり，棒とカマが打ち合いになった時に出る音が民族的な響きになっている。

5 保存会や地域との連携の具体

地域の「安納棒踊り保存会」が中心となって本校児童の希望者に指導を行い，安納神社の大祭の時に棒踊りを披露している。児童減少の中ではあるが児童の希望者が多く，今年度は全児童が練習に参加し，ハナ引き唄の歌い手も継承された。地域の伝統芸能として，「安納棒踊り保存会」を中心とした伝承体制が整っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

総合的な学習の時間の「安納棒踊り」に関する学習内容に、「安納棒踊り保存会」の方から棒踊りについての話を聞いたり棒踊りの体験をしたりする学習がある。このことによって、本校で「安納棒踊り」を伝統芸能として伝承していけるように、学校も支援している。

7 取組の様子（練習・発表の場）



(体育館での練習の様子)



(本番の様子：今年度は安納神社の大祭での披露が延期になり、1月の破魔祈禱祭で披露した。)

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ 本番は緊張したけれど、完璧にできてとてもうれしかった。
- ・ 練習からずっと楽しくできた。これからも続けたい。

【教職員】

- ・ 短い練習時間の中で、よく覚えていて感心した。唄も上手に歌えていた。
- ・ 安納の伝統の担い手なのがすごくよく分かった。これからも引き継いでほしい。

【保存会から】

- ・ 練習時間が少なかったけれど、子供たちがとてもよく練習を頑張ってくれて、どんどん上手になっていったのでうれしかった。来年も頑張ってもらいたい。

【地域の方から】

- ・ 動きがそろっていて、すごく上手でした。すごいなと思いました。